製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

１．１　製品の特定

製品名：　**ズームパワー　マキシクール**
製品分類：　カーエアコン用潤滑剤

１．２　会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒183－0044　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー
担当部門：　技術部
電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
ＵＲＬ：http://www.usccom.co.jp
改定日：　２０１７年　３月　８日

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

エアゾール	区分２
引火性液体	区分外

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分２B
呼吸器感作性と皮膚感作性	皮膚感作性区分１
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分２（神経系）、区分３（眠気やめまい）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分２（肺、肝臓、甲状腺）

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分１
水生環境慢性有害性	区分１
オゾン層への有害性	分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性又は引火性のエアゾール
高圧容器：熱すると破裂のおそれ
眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
神経系の障害のおそれ
眠気やめまいのおそれ
長期にわたる、または、反復ばく露による 肺、肝臓、甲状腺の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

予防策

裸火や高温のものから遠ざけること。－禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
加圧容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
取扱い後手をよく洗うこと。
ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

３．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物

含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有量 mass%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR 法No.	毒劇法No.
合成油	３２～３５	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
潤滑油添加剤	１　～５	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
2,6－di－tert－ブチル－4－クレゾール（但し、潤滑添加剤に含有）	0.2～1.5	128-37-0	9-1805	262	１種 207	非該当
ＨＦＣ－１３４ａ	６３～６８	811-97-2	2-3583	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法No.　毒物及び劇物取締法の政令番号

４．応急措置

眼に入った場合：　清浄な水で瞼の裏まで１５分以上洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：　水と石鹸で付着した部分を洗う。
吸入した場合：　新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで被い、保温して安静に保ち、必要なら医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：　無理に吐かせないで、医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：　水（噴霧）、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他[アルコホーム]
消火方法：
- 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
- 大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。

消火を行なう者の保護：　適切な保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項
- 風下の人を退避させる。
- 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

環境に対する注意事項
- 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。
- 河川や一般廃水溝等に排出しないように注意すること。

除去方法
- 少量の場合は、砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後完全にウエス等で拭い取る。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
- 眼及び皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用する。
- 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。作業着に付着した場合は着替える。

注意事項
- 指定数量以上の量を取扱う場合には法で定められた基準に満足する貯蔵所、取扱所で行なう。
- 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させない。

安全取扱い注意事項
- 常温で取扱うものとし、その際水分、きょう雑物の混入に注意する。

保管

適切な保管条件
- 容器は密栓し、直射日光の当たらない冷暗所に貯蔵する。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：
- ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。
- 取扱い場所の近辺に洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

管理濃度：　規定なし（作業環境評価規準：労働省告示第２８号、平成７．３．２７）
許容濃度：　規定なし
保護具：　呼吸用保護具　必要に応じて防毒マスクを着用する。
眼の保護具　必要に応じて普通型眼鏡着用する。

保護手袋　　長期間接触する場合には耐油性の物を着用する。
保護衣　　長期間取扱う場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

９．物理的及び化学的性質（原液について）

外　観　：　淡黄色液体　　臭　い　：
揮発性　：　なし　　引火点　：　２００℃以上（ＣＯＣ）
爆発限界　：　上限％：有用な情報なし　下限％：有用な情報なし
溶解度　水：　不溶　　密度（１５℃）：１．０２３
流動点　：　－４５℃以下

１０．安定性及び反応性（原液について）

可燃性：　有り
発火性(自然発火性、水との反応性)：　なし
酸化性：　なし
自己反応性・爆発性：　なし
安定性：　安定
反応性：　強酸化剤との接触を避ける

１１．有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

合成油

急性毒性（経口）　分類不可能　有用な情報なし
急性毒性（経皮）　分類不可能　有用な情報なし
急性毒性（吸入：ミスト）　分類不可能　有用な情報なし
皮膚腐食性・刺激性　区分３　皮膚や眼、粘膜に対し、長期または繰り返し接触する場合は刺激性がある恐れがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　区分３　皮膚や眼、粘膜に対し、長期または繰り返し接触する場合は刺激性がある恐れがある。
呼吸器感作性と皮膚感作性　分類不可能　有用な情報なし
生殖細胞変異原性　分類不可能　有用な情報なし
発がん性　分類不可能　有用な情報なし
生殖毒性　分類不可能　有用な情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）　分類不可能　有用な情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）　分類不可能　有用な情報なし
吸引性呼吸器有害性　分類不可能　有用な情報なし

潤滑添加剤

急性毒性（経口）　区分外　5000 以上
急性毒性（経皮）　区分５　2000 以上
急性毒性（吸入：ミスト）　分類不可能　高濃度の場合、頭痛、目眩、疲労、吐き気嘔吐、眠気、混迷、その他中枢神経系影響による視覚障害や呼吸不全、意識消失、死亡を起こす事がある。″
皮膚腐食性・刺激性　区分３　刺激することがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　区分２B　眼を刺激することがある。カナダ D2B および EU　R36 基準に適合しません。これは成分または類似物質のデータに基づいている。
呼吸器感作性と皮膚感作性　区分外　敏感な人は皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。製品あるいは成分が呼吸器官の感作性物質である可能性を示すデータはない。
生殖細胞変異原性　区分外　製品あるいは0.1％以上含まれる成分が突然変異原性または遺伝子毒性を持つことを示すデータはない。
発がん性　区分外　ＮＣＩ発がん性バイオアッセイプログラムでは、マウスとラットにおける試験において 2,6－di－tert－ブチル－4－クレゾールの発がん性の証拠は見出されなかった。一方、ＩＡＲＣは、2,6－di－tert－ブチル－4－クレゾールには動物発がん性の限定証拠があると結論した。この製品には高精製度の鉱油が使用されているが、ＩＰ３４６試験による抽出可能物濃度が３％未満であり、ＩＡＲＣによる基準では発がん性ではないと考えられる。
生殖毒性　区分外　製品あるいは0.1％以上含まれる成分が生殖毒性を持つことを示すデータはない。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）　区分３
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）　区分２　神経系
吸引性呼吸器有害性　分類不可能　有用な情報なし

HFC-134a

急性毒性（経口）　分類不可能　有用な情報なし
急性毒性（経皮）　分類不可能　有用な情報なし
急性毒性（吸入：ミスト）　区分外　ラット LC50/4hr　567,000ppm
皮膚腐食性・刺激性　分類不可能　有用な情報なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　分類不可能　有用な情報なし
呼吸器感作性と皮膚感作性　分類不可能　有用な情報なし
生殖細胞変異原性　区分外　細菌を用いる変異原性試験(Ames試験)、哺乳類培養細胞を用いる細胞遺伝学的試験、生体内染色体異常試験、小核試験、生体内不定期DNA合成試験、優性致死試験のいずれも陰性[CICAD 11(2002)]

発がん性	区分外	この物質中に0.1%以上含まれる成分で、日本産業衛生学会（2004年度）、ACGIH(2005年度)、NTP（2001年度）、IARC(2000年度）いずれにも発がん性物質としてリストされているものはない。
生殖毒性	分類不可能	ラットに、配偶子形成時、交配時、交配後にばく露した実験では、ばく露に関連した影響は見られなかった。優性致死試験では、雄ラットに対して、受精に影響をを及ぼす効果は見られなかった。発生毒性試験で、ウサギに40,000ppmばく露させた場合、母親の体重増加抑制がみられ、ラットに50,000ppmばく露した場合、胎仔の発生に遅延が観察された。[CICAD 11(2002)]
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類不可能	10,000ppmをばく露した場合、実験動物に対して毒性影響は認められなかった。ﾗｯﾄに200,000ppm以上ばく露した場合、中枢神経系の抑制、他の動物種で、麻酔効果が認められた。イヌに無影響量40,000ppmを投与した場合、ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ投与に対する心臓の感受性増加が観察されている。[CICAD 11(2002)]
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類不可能	雌雄のラットを用い、50,000ppmを13週にばく露した吸入試験で毒性効果は観察されなかった。[CICAD 11(2002)]
吸引性呼吸器有害性	**分類対象外**	

１２．環境影響情報

合成油

有用な情報なし

潤滑剤

急性LC５０＝１ｍｇ／L未満（淡水魚）

急性EC５０＝１ｍｇ／L未満（海水魚）

残留性／分解性：この成分のうち少なくとも２５％が普通の速度で生物分解される。これはOECD301タイプのテストデータに基づいている。

生態蓄積性:成分の２５％以上が生物濃縮される可能性がありうる。これはオクタノール／水の分配係数測定値に基づいている。

HFC-134a

急性EC50/48hr ： 980 mg/L（オオミジンコ）

急性LC50/96hr ： 450 mg/L（ニジマス）

残留性／分解性：OECD化学品ﾃｽﾄｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ301D Closed Bottle法に準拠した分解試験で生分解性は認められなかった。

生態蓄積性：1.06（オクタノール／水の分配係数測定値）

他の有害影響：オゾン破壊係数＝０、地球温暖化係数＝1300

１３．廃棄上の注意

製品、容器等の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

１４．輸送上の注意

陸上輸送：　消防法等の危険物輸送について定めるところに従う。

海上輸送：　船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：　航空法に定めるところに従う。

混載禁止：　第１類及び第６類の危険物及び高圧ガス。

１５．適用法令

① 消防法：　危険物第４類第４石油類（非水溶性）　危険等級Ⅲ

② 労働安全衛生法：　第57条　名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
２６２　(2,6－di－tert－ブチル－4－クレゾール)

③ PRTR法：　第１種２０７（2,6－di－tert－ブチル－4－クレゾール)

④ 高圧ガス保安法　エアゾール　適用外

※　都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

１６．その他の情報

１６．１　引用文献

① 原料メーカーのＭＳＤＳ

② ＪＡＣＡ（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

③ 緊急時応急措置指針　［改訂第２版］　容器イエローカード（ラベル方式）への適用　日本規格協会

④ ＧＨＳ分類結果データベース　独立行政法人製品評価技術基盤機構

１６．３　記載内容の問い合わせ先

連絡先：　株式会社ユーエスシー

電話番号：　０４２－３５１－００１１

ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

※注意
製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者に提供されるものです。
取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：(株)オートランド札幌
所在地：札幌市厚別区厚別中央3条6丁目1-35
TEL:011-892-3400